

十月五日

昨日、加村氏との話して、彼がインターネットの客は新しい型の客だと実感を述べたのが面白かった。沢木村上両氏のインタビュはその現実から遊離していると感じたのかも知れない。ネット社会の現実には活字社会のファンタジーを超えた闇に在るのではない。無色透明な闇である。平板な速度だけの世界。マネーゲームの速度によって都市が出現しつつある現在、建築的創造力が出来る事は何なのか。深い闇の中に光が充満しているようなワールドを求めるような社会の核が在るのを望むが、それは今の建築の型には無い。ひろしまハウスのように創り出さねばならないのかな。

九時府中八大建設社長西山氏と国分寺O邸現場へ。十時過修了。研究室へ。台北の李祖原より電話。NYの超高層ビル・カンファレンスの件。彼は今、この分野では明らかに現在世界一位の位置にいる、NYがFROM ORIENTを受け入れるかどうか。CYは不思議な形で世界のヒノキ舞台に立つ事になった。十二時ヒマラヤ、カレー。大学周辺での昼食は仲々辛いものがある。十四時打合せ。十六時カイチROOM、北京モルガン、アニメーション・ロボット・ゲーム展の打合せ。十九時前修了。カイチROOMの五年先の野心をディスカス。まだ、私はキチンとした人間にはしかるべき野心があるものだろうという、言ってみれば架空の前提でモノを考えている。野心というのは古く言えば志、今風に言えば少しの希望かな。カイチROOMは典型的な私の、つまり自我

に即した執心がうすい。つまり、極めて相対的な価値観を持つから、何かをやってみようというよりも自分の性能を良く生かせればそれでよしとする、余りにも民主的な傾向がある。前近代の百姓のような生き方だろう。資本主義的生命とは少し違う。その本体はそこにある。資本主義社会の良い意味での百姓なんだな。本人は自覚してないだろうが。十九時前、Aさん来室。土地の件で相談に乗る。二〇時過修了。近江屋で渡辺君他と一息つき。二十一時迄。二十二時半過世田谷村に戻る。

十月六日

七時過起床。九時前杏林病院。定期検診。検診にしても病院はゆうつつだ。

十二時大学。人事小委員会。十三時教室会議。十五時半修了。丸善原稿書く。十六時半修了。研究室発東大へ。構内で鈴木博之さんとバッテリー会。今日は欠席との事。十八時、技術と歴史研究会。今回は第十八回で、東北大の五十嵐太郎の「戦争と建築」。彼の研究の軌跡を追体験するレクチャーであつた。東大でのディプロマは原子力発電所、そして密教とデザインの関係とのミックスがスタートポイントだった。それから宗教建築都市、オウム真理教サティアン、他。大本教の建築破壊。そして、破壊と戦争へと視点がスライドし、防空都市、セキュリティ都市へと考えが拡がっていった。オガが拡散して焦点を結んでいない印象があつた。彼の解釈、説明する事への情熱の素が視えない。推理小説を解説している手付だな。二〇時半修了。東大前宮本で会食。二十二時了。地下鉄を乗り継いで世田谷村二十三時過帰着。